

# 抗がん剤の血管外漏出時の対処方法 2016.9更新

外来がん化学療法看護ガイドライン 抗がん剤の血管外漏出およびデバイス合併症の予防・早期発見・対処, 日本がん看護学会, 2014年版を用いて作成した

※血管外漏出の対応に関する明確なエビデンスは確立されていません。最終判断は主治医にお願いします。

①直ちに注入を中止、②留置針は抜かずに、漏出薬剤を確認

浸潤している薬剤を回収するため、シリンジで血液を約5mL吸引除去

留置針、ルート抜去、漏出部位をマーキング

患肢を拳上安静

注射ラベルの薬品名のマークを確認

★アンスラサイクリン系抗がん剤

- 可能な限り速やか (6時間以内) にサビーン®投与 (添付文書参照)
- デルモベート®軟膏塗布

◆壊死性抗がん剤  
▲炎症性抗がん剤

- デルモベート®軟膏塗布

非炎症性抗がん剤

- 経過観察

その他 (オプション)

- 皮膚科へ紹介 (初期対応は各科)
- ステロイド局注: リンデロン®
- 局所の冷却 (下表参照)

## 抗がん剤の血管外漏出時組織障害性の分類 (愛媛大学医学部附属病院採用薬品)

★アンスラサイクリン系抗がん剤	◆壊死性抗がん剤 赤文字は冷やしてはいけない薬剤 (保温)	▲炎症性抗がん剤 赤文字は冷やしてはいけない薬剤 (保温)		非炎症性抗がん剤	
アクラシノン	アブラキサン	アクブラ	サイメリン	アドセトリス	ハイカムチン
イダマイシン	エクザール	アルケラン	ジェブタナ	アバスチン	パージェタ
エピルピシン	オンコビン	イホマイド	シスプラチン	アービタックス	ハーセプチン
カルセド	コスメゲン	エトポシド	ダカルバジン	アリムタ	ハラヴェン
ダウノマイシン	ドセタキセル	オキサリプラチン	テモダール	エボルトラ	ブレオ
ドキシル	ナベルピン	エンドキサン	トレアキシン	オプジーボ	フルダラ
ドキシソルピシン	パクリタキセル	カイプロリス	ニドラン	キロサイド	ベクティビックス
ノバントロン	フィルデシン	カドサイラ	フルオロウラシル	シタラビン	ポテリジオ
ピノルビン	ブスルフェクス	カルボプラチン		ゲムシタビン	メソトレキセート
	マイトマイシン	カンプト		サイラムザ	ヤーボイ
	マイロターグ			トリセノックス	リツキサン
	ヨンデリス			トーリセル	ロイスタチン

### 参考文献

- 1) Mouridsen HT, et al. Treatment of anthracycline extravasation with Savene (dexrazoxane): results from two prospective clinical multicentre studies. Ann Oncol 2007; 18: 546-550.
- 2) UpToDate®, Payne AS, et al. Extravasation injury from chemotherapy and other non-antineoplastic vesicants.
- 3) Pérez Fidalgo JA, et al. Management of chemotherapy extravasation: ESMO-EONS Clinical Practice Guidelines. Ann Oncol 2012; 23: Suppl 7:vii167-173.
- 4) Boulanger J, et al. Management of the extravasation of anti-neoplastic agents. Support Care Cancer 2015; 23: 1459-1471.